

新聞で紹介されました

【令和5年10月5日（木） 南日本新聞】

月夜の思い出

通山小2年

朝とばんは、すずしくなってきました。国語のじ間に「夜」を学びました。きょうのしゆくだけは「お月さまを家ぞくで見よう」だったので、夜になるのが楽しみでした。

お父さんがかえってくるのをまって、外に出てみました。月はおいものように、ぶつくりとしていて、明るくきれいな色をしていました。そして、いつの間にかきせつは秋になっているとかんじました。なぜな

ら、「りーん、りーん」とスズムシやコオロギの音色が聞こえてきたからです。

たよりになるお父さんと、やさしいえがおのお母さんの間に立って、しばらくの間すてきなじ間をすごすことができました。

お月さまも、ぼくたち家ぞくに「あしたもがんばってね」と、はなしかけているようでした。

ぼくの学きゆうは、元気いっぱいのにぎやかです。みんなで先生方のお話もよく、聞いてべんきようもがんばりたいです。

(志布志市)

10月5日（木）南日本新聞「若い目」に2年生の [] さんの作文が掲載されました。

十五夜の満月を大好きなお父さん・お母さんの3人でながめながら、秋のおとずれを鈴虫やコオロギの声で感じる事ができたのですね。

頼りになるお父さん、優しい笑顔のお母さんと一緒にお月見ができた侑和さんのうれしさがよく伝わってきます。



